

事務事業評価一覧(課別)

令和7年度

商工観光部観光PR課					(単位:千円)
事務事業名	計:	決算額	改善方向性		シートNo.
		124,352	コスト	成果	
2141 特産品協会運営支援事業		1,043	↓	→	113-01
2142 市PRスタッフ運営協議会活動支援事業		522	×	×	131-01
2143 霧島大使運営事業		11	→	→	533-01
2144 スポーツ団体誘致歓迎実行委員会運営事業		1,710	→	→	431-01
2145 観光バス運行事業		36,894	↓	→	132-01
2146 霧島の食ブランド価値向上事業		3,000	×	×	113-02
2150 観光案内板・電照看板設置事業		3,908	→	→	133-01
2151 観光宣伝事業		2,592	→	↑	131-02
2152 市観光協会活動支援事業		28,231	→	↑	131-03
2153 観光客誘客事業		27,621	→	↑	131-04
2155 森林セラピー推進事業		270	↓	→	132-02
2156 初午祭開催支援事業		2,400	→	→	132-03
2158 安楽妙見温泉街並みづくり活動支援事業		554	→	→	132-04
2159 温泉旅館協会等運営支援事業		1,571	→	→	132-05
2165 外国人観光客誘致促進事業		2,295	→	↑	131-05
2566 霧島市総合観光案内所管理運営事業		9,230	→	↑	131-06
2802 首都圏アンテナショップ運営事業		2,500	→	↑	113-03

1. 基本情報								
事務事業名 2141 ー 特産品協会運営支援事業								
政策名		1. にぎわい(産業の活力あふれ、交流と賑わいが生まれるまちづくり)		所属		観光PR課		
施策名		1. 地域産業の活性化						
基本事業名		3. 霧島ブランドの確立と販路の拡大		予 算 科 目		会計	01 一般会計	
基本事業の内容 (総合計画より)		①「ゲンセン霧島」認定制度を推進するため、生産者等への制度の普及・啓発や、特色ある認定品の充実に取り組みます。 ②生産者や関係団体が連携して、積極的に商談会などに参加することで、認定品の販路拡大や販売促進を図ります。				款	07 商工費	
						項	01 商工費	
						目	04 観光費	
				事業期間		平成10年度～		
基本事業の対象・意図		対象(誰・何を)		意図(どうしたいか)		根拠法令 条例等		特になし
		①②地域産品		①②販路が拡大される		関連計画		特になし

2. 事務事業の事業概要・目的・指標<Do>							
地域産品の開発及び販売経路の拡充のため、会員間の相互理解と連携を強め、霧島ブランドにふさわしい特産品PRや国内外への販路開拓、観光とリンクした特産品産業の振興を通じた地域経済の活性化の促進を目的としている。							

対象(誰に、何を対象にしているのか)		対象指標(対象の大きさを表す指標)	単位	R6(実績)	R7(見込)	R7(実績)	R8(見込)
ア	特産品協会会員	会員数	人	68	70	61	65
イ				0	0	0	0
ウ				0	0	0	0
意図(対象をどうしたいのか)		成果指標(意図の達成度を表す指標)	単位	R6(実績)	R7(目標)	R7(実績)	R8(目標)
ア	特産品をPRし、販路を開拓	特産品PR及び販路開拓に繋がるイベント参加数	回	4	5	5	5
イ				0	0	0	0
ウ				0	0	0	0

3. 事業費推移		R6(決算)	R7(決算)	R8(予算)	4. 令和7年度の実績・成果		
事業費(千円)		938	1,043	937	・霧島ガストロノミー推進協議会事務局 会議等:委員会2回 ・霧島市ふるさと納税支援 会員からの新商品情報等の情報提供を行った。 ・販売チャンネル新規開拓支援事業 会員6件の事業採択 ・イベントへの参加 5回(関西ファンデー、秋の九州物産展、霧島市観光物産展など)		
財 源 内 訳	国庫支出金	0	0	0			
	県支出金	0	0	0			
	地方債	0	0	0			
	その他	0	0	0			
一般財源		938	1,043	937			

5. 振り返り<SEE (check) >			
妥当性	①	この事業の目的は、基本事業の目的、取組方針に結びついているか	結びついている
	②	この事業を市が行う必要があるか？ 税金を投入して達成する目的か	市が実施することは妥当である
	③	廃止・休止の影響はあるか	影響がある
有効性	④	成果が向上する余地(可能性)はあるか	向上する余地はある
効率性	⑤	事務事業の手段を工夫することで、事業費を削減できないか 補助金など、交付先に働きかけて市の負担を削減できないか	***
	⑥	事務事業のやり方(DX・外部委託等)を工夫することで、業務時間を削減できないか	***
公平性	⑦	事務事業の内容が一部の受益者に偏っていないか また、受益者負担の公平性が確保されているか	***

6. 評価結果<(Action-PLAN)>		
(1)今後の事務事業の方向性		(2)令和8年度以降の改革改善内容(取り組むべき課題)
① 事業(成果)の方向性	→ 維持	市商工会や市商工会議所などの関係団体と連携して、本市の魅力ある特産品を国内外への販路拡大を図るための必要な支援を行なう。
② コスト(予算)の方向性	↓ 縮小	

1. 基本情報							
事務事業名	2142 ー 市PRスタッフ運営協議会活動支援事業						
政策名	1. にぎわい(産業の活力あふれ、交流と賑わいが生まれるまちづくり)			所属		観光PR課	
施策名	3. 地域特性を生かした観光の推進						
基本事業名	1. 国内外の観光客の誘致			予	会計	01	一般会計
基本事業の内容 (総合計画より)	①本市の豊富な観光素材や空港、高速道路等が整備された観光地としてのポテンシャルを最大限に生かしつつ、社会環境や旅行形態の変化などを的確に捉え、観光関係団体等と一体となった誘客活動をさらに推進します。 ②旅行動機を喚起するSNS等を活用した情報発信などにより、「観光地・霧島」のさらなる知名度向上に取り組みます。			算	款	07	商工費
				科	項	01	商工費
				目	目	04	観光費
				事業期間		平成17年度～	
基本事業の対象・意図	対象(誰・何を)		意図(どうしたいか)		根拠法令 条例等	特になし	
	①②国内外の人		①②「観光地・霧島」の魅力を知ってもらう ①②「観光地・霧島」を訪れてもらう		関連計画	特になし	

2. 事務事業の事業概要・目的・指標<Do>							
「霧島ふるさと大使」を選考し、市内外で開催される各種イベントや観光宣伝で活動してもらうとともに、大使の活動にあたって必要な知識の習得、マナー向上等を目的とした研修や視察等の機会提供といった管理運営を行うものである。							

対象(誰に、何を対象にしているのか)		対象指標(対象の大きさを表す指標)	単位	R6(実績)	R7(見込)	R7(実績)	R8(見込)
ア	PRスタッフ	選考人数	人	3	3	3	0
イ				0	0	0	0
ウ				0	0	0	0
意図(対象をどうしたいのか)		成果指標(意図の達成度を表す指標)	単位	R6(実績)	R7(目標)	R7(実績)	R8(目標)
ア	各種イベント・観光宣伝で効率的に観光PRができる	出務人数(延べ)	人	81	60	15	0
イ				0	0	0	0
ウ				0	0	0	0

3. 事業費推移		R6(決算)	R7(決算)	R8(予算)	4. 令和7年度の実績・成果
事業費(千円)		1,018	522	0	各種イベント等を通して本市を広くPRするとともに、SNS(フェイスブック、インスタグラム)を利用したの情報発信も行った。 【市内各種イベントや県外の観光キャンペーン】 12回参加 【フェイスブック】38回投稿 【インスタグラム】39回投稿
財源内訳	国庫支出金	0	0	0	
	県支出金	0	0	0	
	地方債	0	0	0	
	その他	1,000	500	0	
	一般財源	18	22	0	

5. 振り返り<SEE (check) >			
妥当性	①	この事業の目的は、基本事業の目的、取組方針に結びついているか	結びついている
	②	この事業を市が行う必要があるか？ 税金を投入して達成する目的か	見直す必要がある
	③	廃止・休止の影響はあるか	***
有効性	④	成果が向上する余地(可能性)はあるか	***
効率性	⑤	事務事業の手段を工夫することで、事業費を削減できないか 補助金など、交付先に働きかけて市の負担を削減できないか	***
	⑥	事務事業のやり方(DX・外部委託等)を工夫することで、業務時間を削減できないか	***
公平性	⑦	事務事業の内容が一部の受益者に偏っていないか また、受益者負担の公平性が確保されているか	***

6. 評価結果<(Action-PLAN)>			
(1) 今後の事務事業の方向性		(2) 令和8年度以降の改革改善内容(取り組むべき課題)	
① 事業(成果)の方向性	× 休廃止	霧島ふるさと大使は、各種イベントへの出演等で市の観光PRに務めてきたが、近年、SNS等の新しいPR媒体が現れ、観光PRの手法も多様化している。また、親善大使の制度を排している自治体が全国的に多くあり、鹿児島市も令和6年度に制度を終了している。その上で、PRスタッフの在り方を検討し、総合的な観点から霧島ふるさと大使が果たすべき役割は終了したとの認識から、現行制度での取組はいったん廃止する。	
② コスト(予算)の方向性	× 皆減		

1. 基本情報							
事務事業名 2143 霧島大使運営事業							
政策名 5. きょうどう(市民とつくる協働と連携のまちづくり)				所属		観光PR課	
施策名 3. 市の魅力と価値を高める多角的施策の展開							
基本事業名 3. シティプロモーションの推進				予	会計	01	一般会計
基本事業の内容 (総合計画より)	①市民のまちへの愛着度を高める「キシマイスター」活動を推進するなど、市民と行政が一体となってまちの魅力づくりに取り組みます。 ②本市の知名度向上を図るために、SNS等を活用し、市民とともに本市の魅力や様々な取組に関する情報発信を行います。			算	款	07	商工費
				科	項	01	商工費
				目	目	04	観光費
				事業期間 平成20年度～			
基本事業の対象・意図	対象(誰・何を)		意図(どうしたいか)		根拠法令 条例等		特になし
	①②市民		①霧島市への愛着度が高まる ②霧島市の魅力を情報発信してもらう		関連計画		特になし

2. 事務事業の事業概要・目的・指標<Do>							
市政全般について理解を深め、それぞれの立場から市政に対する提言や意見をいただくとともに、本市の観光の魅力や特産品等の紹介、宣伝、本市のイメージアップに繋がる活動及び企業誘致や定住促進等、市勢発展に寄与していただく霧島大使の委嘱等を関係課と連携して行うものである。							

対象(誰に、何を対象にしているのか)		対象指標(対象の大きさを表す指標)	単位	R6(実績)	R7(見込)	R7(実績)	R8(見込)
ア	霧島大使	委嘱者数	人	0	1	0	1
イ				0	0	0	0
ウ				0	0	0	0
意図(対象をどうしたいのか)		成果指標(意図の達成度を表す指標)	単位	R6(実績)	R7(目標)	R7(実績)	R8(目標)
ア	霧島市の情報を知ってもらう	広報誌を送った回数	回	252	252	252	252
イ				0	0	0	0
ウ				0	0	0	0

3. 事業費推移		R6(決算)	R7(決算)	R8(予算)	4. 令和7年度の実績・成果		
事業費(千円)		21	11	23	本市の情報提供として、毎月発行している市広報誌等を送付している。また、霧島大使として活動する際の名刺について、活用状況の把握に努めるとともに、希望者へ名刺を作成・提供した。		
財源内訳	国庫支出金	0	0	0			
	県支出金	0	0	0			
	地方債	0	0	0			
	その他	0	0	0			
	一般財源	21	11	23			

5. 振り返り<SEE (check)>			
妥当性	①	この事業の目的は、基本事業の目的、取組方針に結びついているか	結びついている
	②	この事業を市が行う必要があるか？ 税金を投入して達成する目的か	市が実施することは妥当である
	③	廃止・休止の影響はあるか	影響がある
有効性	④	成果が向上する余地(可能性)はあるか	向上する余地はない
効率性	⑤	事務事業の手段を工夫することで、事業費を削減できないか 補助金など、交付先に働きかけて市の負担を削減できないか	削減できない
	⑥	事務事業のやり方(DX・外部委託等)を工夫することで、業務時間を削減できないか	削減できない
公平性	⑦	事務事業の内容が一部の受益者に偏っていないか また、受益者負担の公平性が確保されているか	公平・公正である

6. 評価結果<(Action-PLAN)>			
(1) 今後の事務事業の方向性		(2) 令和8年度以降の改革改善内容(取り組むべき課題)	
① 事業(成果)の方向性	→ 維持	大使への情報提供を継続的に続けていく中、庁内及び各種団体等と連携し、新たな大使の委嘱を検討するなど本市の更なる知名度向上に努めていく。	
② コスト(予算)の方向性	→ 維持		

1. 基本情報								
事務事業名 2144 - スポーツ団体誘致歓迎実行委員会運営事業								
政策名 4. はぐみ(社会を生き抜く力と生涯を通じて学びあう力を育むまちづくり)		所属		観光PR課				
施策名 3. スポーツ・文化に親しむ環境づくり								
基本事業名 1. スポーツに親しむ環境づくりの推進		予	会計	01	一般会計			
基本事業の内容 (総合計画より)	①スポーツキャンプや大会の誘致、トップアスリート選手等によるスポーツ教室、各地区スポーツ祭、霧島スポーツまつりの開催など、スポーツに関わる関心層の拡大や競技スポーツの向上につながる取組を推進します。 ②多様化するニーズや社会環境の変化に対応した、新たな視点によるスポーツ指導者やコーディネーター役を担うスポーツ推進委員の養成に努めます。 ③市民のスポーツ活動の拠点となるスポーツ施設の充実を図るため、老朽化した施設や設備の整備、バリアフリー化を計画的に行います。		算	款	07	商工費		
				科	項	01	商工費	
					目	04	観光費	
					事業期間		平成8年度～	
基本事業の対象・意図	対象(誰・何を)		意図(どうしたいか)		根拠法令 条例等		霧島市補助金交付規則等	
	①市民 ②スポーツ指導者・スポーツ推進委員 ③スポーツ施設		①スポーツへの関心が高まる ①競技力が向上する ②多様化するニーズや社会環境の変化に対応した指導ができる ③安全性・利便性が高まる		関連計画		特になし	

2. 事務事業の事業概要・目的・指標<Do>							
スポーツ団体誘致による市の活性化と観光客の集客を図るために、市スポーツ団体誘致歓迎実行委員会に対し補助金を交付する。							

対象(誰に、何を対象にしているのか)	対象指標(対象の大きさを表す指標)	単位	R6(実績)	R7(見込)	R7(実績)	R8(見込)
ア スポーツ団体	現在誘致活動を行っている団体数	団体数	7	7	8	7
イ			0	0	0	0
ウ			0	0	0	0
意図(対象をどうしたいのか)	成果指標(意図の達成度を表す指標)	単位	R6(実績)	R7(目標)	R7(実績)	R8(目標)
ア 霧島市でキャンプを行ってもらう	キャンプを行った団体(全体)	団体数	7	7	8	7
イ			0	0	0	0
ウ			0	0	0	0

3. 事業費推移		R6(決算)	R7(決算)	R8(予算)	4. 令和7年度の実績・成果	
事業費(千円)		1,900	1,710	1,326	霧島市でキャンプを継続している団体に対し、誘致活動を行った。また、プロ・実業団のキャンプイン時に歓迎セレモニーを実施・激励品の贈呈をした。	
財源内訳	国庫支出金	0	0	0	【継続団体】 クリタウオーターガッシュ昭島、モンテディオ山形、藤枝MYFC、Hondaソフトボール部、太陽誘電女子ソフトボール部、中央大学硬式野球部、日本経済大学硬式野球部 【新規】 Honda FC	
	県支出金	0	0	0		
	地方債	0	0	0		
	その他	0	0	0		
	一般財源	1,900	1,710	1,326		

5. 振返り<SEE (check)>			
妥当性	①	この事業の目的は、基本事業の目的、取組方針に結びついているか	結びついている
	②	この事業を市が行う必要があるか？ 税金を投入して達成する目的か	市が実施することは妥当である
	③	廃止・休止の影響はあるか	影響がある
有効性	④	成果が向上する余地(可能性)はあるか	向上する余地はない
効率性	⑤	事務事業の手段を工夫することで、事業費を削減できないか 補助金など、交付先に働きかけて市の負担を削減できないか	削減できない
	⑥	事務事業のやり方(DX・外部委託等)を工夫することで、業務時間を削減できないか	削減できない
公平性	⑦	事務事業の内容が一部の受益者に偏っていないか また、受益者負担の公平性が確保されているか	公平・公正である

6. 評価結果<(Action-PLAN)>		
(1) 今後の事務事業の方向性		(2) 令和8年度以降の改革改善内容(取り組むべき課題)
① 事業(成果)の方向性	→ 維持	事業及びコストの方向性が「維持」の場合は、改革改善内容の記載は不要としています。
② コスト(予算)の方向性	→ 維持	

1. 基本情報							
事務事業名	2145 ー 観光バス運行事業						
政策名	1. にぎわい(産業の活力あふれ、交流と賑わいが生まれるまちづくり)			所属		観光PR課	
施策名	3. 地域特性を生かした観光の推進						
基本事業名	2. 観光素材の創出と活用			予	会計	01	一般会計
基本事業の内容 (総合計画より)	①JR肥薩線沿線周辺の整備や、ジオパークサイト等の地域資源を活用したガイドツアーの推進など、観光素材の魅力を引き出し、高める取組を推進します。 ②周遊観光の促進を図るため、観光ニーズに対応した広域観光ルートの開発や観光素材の活用を推進します。 ③多様化・複雑化する観光ニーズに対応した、「霧島ならではの」観光素材の創出を図ります。			算	款	07	商工費
				科	項	01	商工費
				目	目	04	観光費
				事業期間		平成17年度～	
基本事業の対象・意図	対象(誰・何を)		意図(どうしたいか)		根拠法令 条例等		特になし
	①②自然や歴史・文化、温泉、食などの多種多様な観光素材 ③観光ニーズに対応した広域ルート		①②生かされる ①②創出される ③開発される		関連計画		霧島市地域公共交通計画

2. 事務事業の事業概要・目的・指標<Do>

観光客の二次アクセスを確保するため、以下の観光バスを運行するもの。
【霧島連山周遊バス】登山者の交通アクセス充実のため、丸尾を拠点にえびの高原及び高千穂河原を結ぶ。平成17年から運行。
【妙見路線バス】妙見を経由して国分駅から鹿児島空港を結ぶ。平成22年度から運行。
【霧島神宮アクセスバス】鹿児島空港から乗り換えなしで丸尾・霧島神宮を経由して霧島神宮駅を結ぶ。令和6年度から運行。

対象(誰に、何を対象にしているのか)		対象指標(対象の大きさを表す指標)	単位	R6(実績)	R7(見込)	R7(実績)	R8(見込)
ア	観光客	観光客数	人	6,371,846	7,490,000	6,486,849	7,490,000
イ	観光客	観光客数	人	6,371,846	7,490,000	6,486,849	7,490,000
ウ	観光客	観光客数	人	6,371,846	7,490,000	6,486,849	7,490,000
意図(対象をどうしたいのか)		成果指標(意図の達成度を表す指標)	単位	R6(実績)	R7(目標)	R7(実績)	R8(目標)
ア	2次交通アクセスを確保する	霧島連山周遊バスの利用者数	人	3,200	4,600	2,689	3,000
イ	2次交通アクセスを確保する	妙見路線バスの利用者数	人	6,744	7,400	7,566	8,300
ウ	2次交通アクセスを確保する	霧島神宮アクセスバスの利用者数	人	6,450	8,400	8,463	9,300

3. 事業費推移		R6(決算)	R7(決算)	R8(予算)	4. 令和7年度の実績・成果
事業費(千円)		31,360	36,894	40,595	●観光バス利用実績 【霧島連山周遊バス】 令和7年度 2,689人(対前年比 84.0%) ※新燃岳の噴火警戒レベルの引上げ等の影響により、利用者数が減少した。 【妙見路線バス】 令和7年度 7,566人(対前年比112.2%) ※妙見路線バスは、前年度に比べて利用者が増えた。 【霧島神宮アクセスバス】 令和7年度 8,463人(対前年比 131.2%) ※鹿児島空港から乗り換えなしで丸尾・霧島神宮を経由して霧島神宮駅を結ぶ観光バスであり、他のバスと接続することで霧島エリアの回遊性の向上が図られた。
財源内訳	国庫支出金	0	0	0	
	県支出金	0	6,777	352	
	地方債	0	0	0	
	その他	29,900	28,000	39,700	
一般財源		1,460	2,117	543	

5. 振返り<SEE (check)>

妥当性	①	この事業の目的は、基本事業の目的、取組方針に結びついているか	結びついている
	②	この事業を市が行う必要があるか？ 税金を投入して達成する目的か	実施すべき又は実施しなければならない事業
	③	廃止・休止の影響はあるか	影響がある
有効性	④	成果が向上する余地(可能性)はあるか	向上する余地はある
効率性	⑤	事務事業の手段を工夫することで、事業費を削減できないか 補助金など、交付先に働きかけて市の負担を削減できないか	***
	⑥	事務事業のやり方(DX・外部委託等)を工夫することで、業務時間を削減できないか	***
公平性	⑦	事務事業の内容が一部の受益者に偏っていないか また、受益者負担の公平性が確保されているか	***

6. 評価結果<(Action-PLAN)>

(1) 今後の事務事業の方向性		(2) 令和8年度以降の改革改善内容(取り組むべき課題)
① 事業(成果)の方向性	→ 維持	・市の観光バス等の乗り合わせによる市内観光のPRを徹底しながら、更なる利用者増加を図る。 ・霧島神宮駅～霧島神宮までの区間運賃の設定など更なる利用者を増やすための創意工夫が必要。
② コスト(予算)の方向性	↓ 縮小	

1. 基本情報							
事務事業名 2146 霧島の食ブランド価値向上事業							
政策名 1. にぎわい(産業の活力あふれ、交流と賑わいが生まれるまちづくり)			所属		観光PR課		
施策名 1. 地域産業の活性化							
基本事業名 3. 霧島ブランドの確立と販路の拡大			予	会計	01	一般会計	
基本事業の内容 (総合計画より)	①「ゲンセン霧島」認定制度を推進するため、生産者等への制度の普及・啓発や、特色ある認定品の充実に取り組みます。 ②生産者や関係団体が連携して、積極的に商談会などに参加することで、認定品の販路拡大や販売促進を図ります。			算 科 目	款	07	商工費
					項	01	商工費
					目	04	観光費
				事業期間		平成29年度～	
基本事業の対象・意図	対象(誰・何を)		意図(どうしたいか)		根拠法令 条例等		特になし
	①②地域産品		①②販路が拡大される		関連計画		地域再生計画

2. 事務事業の事業概要・目的・指標<Do>							
健康的食生活と食を通じた喜びを分かち合うための知識、体験、芸術、クラフトを統合したガストロノミーの理念のもと、「霧島には魅力的な食文化がある」という認識を国内外から得るため、市内の産学官各種団体が連携した「霧島ガストロノミー推進協議会」の活動を支援し、地域経済の活性化や交流人口の拡大を図ることを目的とする。							

対象(誰に、何を対象にしているのか)		対象指標(対象の大きさを表す指標)	単位	R6(実績)	R7(見込)	R7(実績)	R8(見込)
ア	市民	霧島市の人口	人	122,798	122,500	122,274	122,000
イ				0	0	0	0
ウ				0	0	0	0
意図(対象をどうしたいのか)		成果指標(意図の達成度を表す指標)	単位	R6(実績)	R7(目標)	R7(実績)	R8(目標)
ア	霧島ガストロノミーブランド認定を取得	認定された商品、活動の数	件	67	68	64	64
イ				0	0	0	0
ウ				0	0	0	0

3. 事業費推移		R6(決算)	R7(決算)	R8(予算)	4. 令和7年度の実績・成果 ・ブランド認定制度により、新たに11件(新規2件、再認定9件)の認定品・活動が「ゲンセン霧島」に認定され、令和7年度末で64認定品(50事業者)となった。 ・市内外の物産展やイベントへ出展したことにより、「ゲンセン霧島」認定品の認知度向上が図られた。 ・「霧島市マルシェin鹿児島空港」を開催したことにより、新燃岳の噴火や大雨災害の影響を受ける生産者の販路拡大等が図られた。 ・霧島茶のPRイベント「霧島茶庭」や「かごしま茶生産量日本一イベント」を開催したことにより、「ゲンセン霧島茶」の認知度向上等が図られた。
事業費(千円)		3,610	3,000	1,800	
財源内訳	国庫支出金	0	0	0	
	県支出金	0	0	0	
	地方債	0	0	0	
	その他	0	0	0	
一般財源		3,610	3,000	1,800	

5. 振り返り<SEE (check)>			
妥当性	①	この事業の目的は、基本事業の目的、取組方針に結びついているか	結びついている
	②	この事業を市が行う必要があるか？ 税金を投入して達成する目的か	見直す必要がある
	③	廃止・休止の影響はあるか	***
有効性	④	成果が向上する余地(可能性)はあるか	***
効率性	⑤	事務事業の手段を工夫することで、事業費を削減できないか 補助金など、交付先に働きかけて市の負担を削減できないか	***
	⑥	事務事業のやり方(DX・外部委託等)を工夫することで、業務時間を削減できないか	***
公平性	⑦	事務事業の内容が一部の受益者に偏っていないか また、受益者負担の公平性が確保されているか	***

6. 評価結果<(Action-PLAN)>		
(1) 今後の事務事業の方向性		(2) 令和8年度以降の改革改善内容(取り組むべき課題)
① 事業(成果)の方向性	× 休廃止	霧島ガストロノミーブランド認定制度「ゲンセン霧島」は令和8年度で一旦休止し、事業者や構成団体を交えながら、新たな特産品振興のあり方を見直し検討する。
② コスト(予算)の方向性	× 皆減	

1. 基本情報									
事務事業名	2150 ー 観光案内板・電照看板設置事業								
政策名	1. にぎわい(産業の活力あふれ、交流と賑わいが生まれるまちづくり)				所属		観光PR課		
施策名	3. 地域特性を生かした観光の推進								
基本事業名	3. 利便性の高い観光地づくりの推進				予	会計	01	一般会計	
基本事業の内容 (総合計画より)	①施設などのユニバーサルデザイン化や多言語表記による案内板の設置、Wi-Fi環境の整備を促進します。 ②個人旅行の増加など旅行形態の変化に対応するため、主要な交通結節点である空港や駅からの二次アクセスの確保を図ります。				算	款	07	商工費	
					科	項	01	商工費	
					目	目	04	観光費	
					事業期間		平成17年度～		
基本事業の対象・意図	対象(誰・何を)		意図(どうしたいか)		根拠法令 条例等		特になし		
	①②国内外からの観光客		①②快適に観光できる		関連計画		特になし		
2. 事務事業の事業概要・目的・指標<Do>									
新幹線やJR在来線及び飛行機を利用し鹿児島県を訪れた観光客に対して本市への誘致を図るため、観光PR広告看板を設置するもの。									
対象(誰に、何を対象にしているのか)		対象指標(対象の大きさを表す指標)		単位	R6(実績)	R7(見込)	R7(実績)	R8(見込)	
ア	観光客	霧島市を訪れる観光客(宿泊+日帰り)		人	6,371,846	7,490,000	6,486,849	7,490,000	
イ					0	0	0	0	
ウ					0	0	0	0	
意図(対象をどうしたいのか)		成果指標(意図の達成度を表す指標)		単位	R6(実績)	R7(目標)	R7(実績)	R8(目標)	
ア	霧島市を知ることができる	看板を見た人(鹿児島中央駅鹿児島本線1日あたりの乗車人員)		人	20,204	21,000	0	0	
イ	霧島市を知ることができる	看板を見た人(鹿児島空港国際線:乗降客数)		人	189,764	400,000	0	0	
ウ					0	0	0	0	
3. 事業費推移		R6(決算)	R7(決算)	R8(予算)	4. 令和7年度の実績・成果				
事業費(千円)		4,018	3,908	3,557	鹿児島県の空の玄関口である鹿児島空港、陸の玄関口である鹿児島中央駅それぞれに本市の魅力ある観光素材や特産品などの情報を掲載した広告を設置することで、本市の認知度向上や誘客促進が図られた。				
財源内訳	国庫支出金	0	0	0					
	県支出金	0	0	0					
	地方債	0	0	0					
	その他	1,320	1,397	1,397					
一般財源		2,698	2,511	2,160					
5. 振り返り<SEE (check)>									
妥当性	①	この事業の目的は、基本事業の目的、取組方針に結びついているか					結びついている		
	②	この事業を市が行う必要があるか？ 税金を投入して達成する目的か					実施すべき又は実施しなければならない事業		
	③	廃止・休止の影響はあるか					影響がある		
有効性	④	成果が向上する余地(可能性)はあるか					向上する余地はない		
効率性	⑤	事務事業の手段を工夫することで、事業費を削減できないか 補助金など、交付先に働きかけて市の負担を削減できないか					削減できない		
	⑥	事務事業のやり方(DX・外部委託等)を工夫することで、業務時間を削減できないか					削減できない		
公平性	⑦	事務事業の内容が一部の受益者に偏っていないか また、受益者負担の公平性が確保されているか					公平・公正である		
6. 評価結果<(Action-PLAN)>									
(1) 今後の事務事業の方向性				(2) 令和8年度以降の改革改善内容(取り組むべき課題)					
① 事業(成果)の方向性		→ 維持		より効果的な看板掲出のため、既存看板のデザイン更新など、掲載内容の見直しを随時行う必要がある。					
② コスト(予算)の方向性		→ 維持							

1. 基本情報							
事務事業名	2151 ー 観光宣伝事業						
政策名	1. にぎわい(産業の活力あふれ、交流と賑わいが生まれるまちづくり)			所属		観光PR課	
施策名	3. 地域特性を生かした観光の推進						
基本事業名	1. 国内外の観光客の誘致			予	会計	01	一般会計
基本事業の内容 (総合計画より)	①本市の豊富な観光素材や空港、高速道路等が整備された観光地としてのポテンシャルを最大限に生かしつつ、社会環境や旅行形態の変化などを的確に捉え、観光関係団体等と一体となった誘客活動をさらに推進します。 ②旅行動機を喚起するSNS等を活用した情報発信などにより、「観光地・霧島」のさらなる知名度向上に取り組みます。			算	款	07	商工費
				科	項	01	商工費
				目	目	04	観光費
				事業期間		平成17年度～	
基本事業の対象・意図	対象(誰・何を)		意図(どうしたいか)		根拠法令 条例等		特になし
	①②国内外の人		①②「観光地・霧島」の魅力を知ってもらう ①②「観光地・霧島」を訪れてもらう				
					関連計画		特になし

2. 事務事業の事業概要・目的・指標<Do>							
本市の魅力ある観光資源を広く周知するため、効果的なイベントへの参加や旅行会社等へのセールス、また各種メディアやウェブ等を活用した情報発信を行うとともに、観光客のニーズに応じた情報提供や資料配布等も行い誘客を図る。							

対象(誰に、何を対象にしているのか)		対象指標(対象の大きさを表す指標)	単位	R6(実績)	R7(見込)	R7(実績)	R8(見込)
ア	国民	日本の人口	千人	123,784	123,400	122,441	122,771
イ				0	0	0	0
ウ				0	0	0	0
意図(対象をどうしたいのか)		成果指標(意図の達成度を表す指標)	単位	R6(実績)	R7(目標)	R7(実績)	R8(目標)
ア	各種イベント・観光宣伝で霧島市を知ることができる	宣伝日数(延べ)	日	31	78	74	75
イ				0	0	0	0
ウ				0	0	0	0

3. 事業費推移		R6(決算)	R7(決算)	R8(予算)	4. 令和7年度の実績・成果		
事業費(千円)		2,633	2,592	3,779	【実績】 ・観光宣伝イベント参加数:14回 ・旅行商品商談会等参加者:8回 ・修学旅行関連セールス等:4回 ・地元イベント参加数:15回 ・観光パンフレット発送数:258件 【成果】 令和7年度は昨年度と比べて観光宣伝イベントやセールス等の回数が増加し、旅行会社等と直接商談を行い誘客につなげることができた。また、霧島市の魅力ある観光素材について各種メディアやウェブ等を積極的に活用し効果的な情報発信ができた。		
財源内訳	国庫支出金	0	0	0			
	県支出金	0	0	1,000			
	地方債	0	0	0			
	その他	2,600	2,500	1,700			
	一般財源	33	92	1,079			

5. 振返り<SEE (check)>			
妥当性	①	この事業の目的は、基本事業の目的、取組方針に結びついているか	結びついている
	②	この事業を市が行う必要があるか？税金を投入して達成する目的か	実施すべき又は実施しなければならない事業
	③	廃止・休止の影響はあるか	影響がある
有効性	④	成果が向上する余地(可能性)はあるか	向上する余地はある
効率性	⑤	事務事業の手段を工夫することで、事業費を削減できないか 補助金など、交付先に働きかけて市の負担を削減できないか	***
	⑥	事務事業のやり方(DX・外部委託等)を工夫することで、業務時間を削減できないか	***
公平性	⑦	事務事業の内容が一部の受益者に偏っていないか また、受益者負担の公平性が確保されているか	***

6. 評価結果<(Action-PLAN)>		
(1)今後の事務事業の方向性		(2)令和8年度以降の改革改善内容(取り組むべき課題)
① 事業(成果)の方向性	↑ 拡充	本市の観光宣伝にとって有効なものを選択し、限られた予算の範囲内で宣伝効果を発揮するような事業に取り組む。
② コスト(予算)の方向性	→ 維持	

1. 基本情報							
事務事業名	2152 ー 市観光協会活動支援事業						
政策名	1. にぎわい(産業の活力あふれ、交流と賑わいが生まれるまちづくり)			所属	観光PR課		
施策名	3. 地域特性を生かした観光の推進						
基本事業名	1. 国内外の観光客の誘致			予	会計	01	一般会計
基本事業の内容 (総合計画より)	①本市の豊富な観光素材や空港、高速道路等が整備された観光地としてのポテンシャルを最大限に生かしつつ、社会環境や旅行形態の変化などを的確に捉え、観光関係団体等と一体となった誘客活動をさらに推進します。 ②旅行動機を喚起するSNS等を活用した情報発信などにより、「観光地・霧島」のさらなる知名度向上に取り組みます。			算	款	07	商工費
				科	項	01	商工費
				目	目	04	観光費
				事業期間		平成21年度～	
基本事業の対象・意図	対象(誰・何を)		意図(どうしたいか)		根拠法令 条例等	特になし	
	①②国内外の人		①②「観光地・霧島」の魅力を知ってもらう ①②「観光地・霧島」を訪れてもらう		関連計画	特になし	

2. 事務事業の事業概要・目的・指標<Do>							
(公社)霧島市観光協会の事業及び運営補助を行うことで、公益性のある観光客の誘致促進事業や受入整備事業を実施し、本市の観光振興に繋げる。 ●誘致促進事業…観光イベントの開催、ホームページ等による情報発信、サイクルツーリズム推進事業 など ●受入整備事業…観光案内所(3箇所)の運営、観光マップ作成事業、インバウンド対策事業 など							

対象(誰に、何を対象にしているのか)		対象指標(対象の大きさを表す指標)	単位	R6(実績)	R7(見込)	R7(実績)	R8(見込)
ア	観光業者・従事者	観光協会に加入している事業所数	社	216	220	215	220
イ				0	0	0	0
ウ				0	0	0	0
意図(対象をどうしたいのか)		成果指標(意図の達成度を表す指標)	単位	R6(実績)	R7(目標)	R7(実績)	R8(目標)
ア	市観光協会の活動運営を支援することで観光誘客のための事業を推進する	観光客数(宿泊+日帰り)	人	6,371,846	7,490,000	6,486,849	7,490,000
イ				0	0	0	0
ウ				0	0	0	0

3. 事業費推移		R6(決算)	R7(決算)	R8(予算)	4. 令和7年度の実績・成果
事業費(千円)		29,716	28,231	28,000	観光客の誘致促進および受入環境整備事業に注力した。観光協会の自主事業である「和服で参拝、ぶらり霧島神宮。」や「ギリシマクエスト」、「レンタサイクル事業」などの体験コンテンツのほか、ホームページのリニューアルや新たに「西郷公園なりきり衣装貸出」を事業化するなど、協賛事業者から資金調達等を行い、自主財源の確保にも努めているところである。
財源内訳	国庫支出金	0	0	0	
	県支出金	0	0	0	
	地方債	0	0	0	
	その他	0	0	0	
	一般財源	29,716	28,231	28,000	

5. 振り返り<SEE (check) >			
妥当性	①	この事業の目的は、基本事業の目的、取組方針に結びついているか	結びついている
	②	この事業を市が行う必要があるか？ 税金を投入して達成する目的か	市が実施することは妥当である
	③	廃止・休止の影響はあるか	影響がある
有効性	④	成果が向上する余地(可能性)はあるか	向上する余地はある
効率性	⑤	事務事業の手段を工夫することで、事業費を削減できないか 補助金など、交付先に働きかけて市の負担を削減できないか	***
	⑥	事務事業のやり方(DX・外部委託等)を工夫することで、業務時間を削減できないか	***
公平性	⑦	事務事業の内容が一部の受益者に偏っていないか また、受益者負担の公平性が確保されているか	***

6. 評価結果<(Action-PLAN)>		
(1)今後の事務事業の方向性		(2)令和8年度以降の改革改善内容(取り組むべき課題)
① 事業(成果)の方向性	↑ 拡充	自主財源の確保に向けて新たな事業を立ち上げるなどの努力をしている。物価高騰や人員不足、観光案内所の整理等課題が多いが、引き続き自主財源の確保と観光客誘客に努めるよう働きかける。
② コスト(予算)の方向性	→ 維持	

1. 基本情報							
事務事業名	2153 ― 観光客誘客事業						
政策名	1. にぎわい(産業の活力あふれ、交流と賑わいが生まれるまちづくり)			所属	観光PR課		
施策名	3. 地域特性を生かした観光の推進						
基本事業名	1. 国内外の観光客の誘致			予	会計	01	一般会計
基本事業の内容 (総合計画より)	①本市の豊富な観光素材や空港、高速道路等が整備された観光地としてのポテンシャルを最大限に生かしつつ、社会環境や旅行形態の変化などを的確に捉え、観光関係団体等と一体となった誘客活動をさらに推進します。 ②旅行動機を喚起するSNS等を活用した情報発信などにより、「観光地・霧島」のさらなる知名度向上に取り組みます。			算	款	07	商工費
				科	項	01	商工費
				目	目	04	観光費
				事業期間		平成22年度～	
基本事業の対象・意図	対象(誰・何を)		意図(どうしたいか)		根拠法令 条例等	特になし	
	①②国内外の人		①②「観光地・霧島」の魅力を知ってもらう ①②「観光地・霧島」を訪れてもらう		関連計画	特になし	

2. 事務事業の事業概要・目的・指標<Do>							
本市への誘客促進と再訪につなげるための観光客の満足度向上、イメージアップ及び地域経済の発展を図るため、国内外セールスや会員団体への助成事業、温泉を活用した誘客・普及宣伝事業、イベントへの出展等を実施する。							

対象(誰に、何を対象にしているのか)		対象指標(対象の大きさを表す指標)	単位	R6(実績)	R7(見込)	R7(実績)	R8(見込)
ア	観光業者・従事者	観光協会に加入している事業所数	社	216	220	215	220
イ				0	0	0	0
ウ				0	0	0	0
意図(対象をどうしたいのか)		成果指標(意図の達成度を表す指標)	単位	R6(実績)	R7(目標)	R7(実績)	R8(目標)
ア	経済的に豊かにする	観光客数(宿泊＋日帰り)	人	6,371,846	7,490,000	6,486,849	7,490,000
イ				0	0	0	0
ウ				0	0	0	0

3. 事業費推移		R6(決算)	R7(決算)	R8(予算)	4. 令和7年度の実績・成果
事業費(千円)		6,435	27,621	4,900	【実績】 PRキャラクター事業(霧島温泉大使アヒル隊長企画事業)、温泉活用事業(スタンプラリー「ゆ旅」)、活性化団体支援事業(2団体＋2高校)、誘致助成事業(3団体)、情報発信(香港インフルエンサー招聘事業、山の日イベント等)、指宿市との広域連携事業、新燃岳噴火対策「霧島に泊まって！1万人キャンペーン」(対象施設に宿泊者一人につき2,000円をキャッシュバック)を実施。 【成果】 市内で自主的に活動する地域活性化団体や高校生への支援及び誘客が見込まれる事業への助成を行ったことにより、官民一体となった誘客意欲の向上が図られた。また、指宿市との広域連携事業において、国内外へのプロモーションを実施したことにより、本市への誘客促進が図られた。さらに、「霧島に泊まって！1万人キャンペーン」を実施したことにより、51施設が参画し、9,241名の宿泊利用につながった。
財源内訳	国庫支出金	0	0	0	
	県支出金	0	0	0	
	地方債	0	0	0	
	その他	6,400	6,100	4,900	
一般財源		35	21,521	0	

5. 振り返り<SEE (check)>			
妥当性	①	この事業の目的は、基本事業の目的、取組方針に結びついているか	結びついている
	②	この事業を市が行う必要があるか？ 税金を投入して達成する目的か	市が実施することは妥当である
	③	廃止・休止の影響はあるか	影響がある
有効性	④	成果が向上する余地(可能性)はあるか	向上する余地はある
効率性	⑤	事務事業の手段を工夫することで、事業費を削減できないか 補助金など、交付先に働きかけて市の負担を削減できないか	***
	⑥	事務事業のやり方(DX・外部委託等)を工夫することで、業務時間を削減できないか	***
公平性	⑦	事務事業の内容が一部の受益者に偏っていないか また、受益者負担の公平性が確保されているか	***

6. 評価結果<(Action-PLAN)>		
(1) 今後の事務事業の方向性		(2) 令和8年度以降の改革改善内容(取り組むべき課題)
① 事業(成果)の方向性	↑ 拡充	令和8年度事業については、事業内容の見直しを行い、効果的な観光客誘客事業に注力することにより、前年度より大幅に補助金の削減を行った。今後も定期的な事業の見直しを行い、民間事業者と連携して取り組む誘客事業の内容の充実を図っていききたい。
② コスト(予算)の方向性	→ 維持	

1. 基本情報							
事務事業名		2155 ー 森林セラピー推進事業					
政策名		1. にぎわい(産業の活力あふれ、交流と賑わいが生まれるまちづくり)		所属		観光PR課	
施策名		3. 地域特性を生かした観光の推進					
基本事業名		2. 観光素材の創出と活用		予	会計	01	一般会計
基本事業の内容 (総合計画より)	①JR肥薩線沿線周辺の整備や、ジオパークサイト等の地域資源を活用したガイドツアーの推進など、観光素材の魅力を引き出し、高める取組を推進します。 ②周遊観光の促進を図るため、観光ニーズに対応した広域観光ルートの開発や観光素材の活用を推進します。 ③多様化・複雑化する観光ニーズに対応した、「霧島ならではの」観光素材の創出を図ります。		算	款	07	商工費	
			科	項	01	商工費	
			目	目	04	観光費	
			事業期間		平成17年度～		
基本事業の対象・意図	対象(誰・何を)		意図(どうしたいか)		根拠法令 条例等		特になし
	①②自然や歴史・文化、温泉、食などの多種多様な観光素材 ③観光ニーズに対応した広域ルート		①②生かされる ①②創出される ③開発される		関連計画		特になし

2. 事務事業の事業概要・目的・指標<Do>							
「森林セラピー」は、森が持つ癒し効果を科学的に解明し、森で過ごすことによって日頃のストレスを解消し、健康な日常生活を送ることが目的である。全国で霧島市を含む65の団体が森林セラピー基地及びセラピーロードに認定されており、認定基地及び認定ロードではその地域独自のセラピーメニューを考案して観光振興や地域振興を図る。							

対象(誰に、何を対象にしているのか)		対象指標(対象の大きさを表す指標)	単位	R6(実績)	R7(見込)	R7(実績)	R8(見込)
ア	観光客(イベント参加者)	イベント参加者数	人	42	50	40	0
イ	指導者(森林セラピーガイド)	セラピーガイド会員数	人	10	10	10	10
ウ				0	0	0	0
意図(対象をどうしたいのか)		成果指標(意図の達成度を表す指標)	単位	R6(実績)	R7(目標)	R7(実績)	R8(目標)
ア	癒される	イベント満足度	%	97	100	100	0
イ	ガイドを養成する	養成回数	回	0	5	4	0
ウ				0	0	0	0

3. 事業費推移		R6(決算)	R7(決算)	R8(予算)	4. 令和7年度の実績・成果
事業費(千円)		354	270	195	【実績】 ○森林セラピーガイド養成講座を実施した。全5回の内1回は豪雨災害により中止となったが、最終的にガイドクラブに4名の新規会員を迎えることができた。 ○森林セラピーイベント「癒しの休日」の開催(11月) 霧島市森林セラピー推進協議会(事務局:観光PR課内)の主催でイベントを1回実施した。通常の森林セラピーだけでなく霧島ならではの魅力を盛り込むことで、参加者からの満足度も高いイベントとなった。 【成果】 11月のセラピーイベントでは、イベント参加者の100%の方が「大変満足」「満足」と回答した。また、九州沖縄森林セラピー基地ネットワークでは、10基地の合同パンフレットを作成し、相互に森林セラピー基地をアピールした。
財源内訳	国庫支出金	0	0	0	
	県支出金	0	0	0	
	地方債	0	0	0	
	その他	0	0	0	
	一般財源	354	270	195	

5. 振り返り<SEE (check)>			
妥当性	①	この事業の目的は、基本事業の目的、取組方針に結びついているか	結びついている
	②	この事業を市が行う必要があるか？ 税金を投入して達成する目的か	市が実施することは妥当である
	③	廃止・休止の影響はあるか	影響がある
有効性	④	成果が向上する余地(可能性)はあるか	向上する余地はない
効率性	⑤	事務事業の手段を工夫することで、事業費を削減できないか 補助金など、交付先に働きかけて市の負担を削減できないか	削減できない
	⑥	事務事業のやり方(DX・外部委託等)を工夫することで、業務時間を削減できないか	削減できる
公平性	⑦	事務事業の内容が一部の受益者に偏っていないか また、受益者負担の公平性が確保されているか	***

6. 評価結果<(Action-PLAN)>		
(1) 今後の事務事業の方向性		(2) 令和8年度以降の改革改善内容(取り組むべき課題)
① 事業(成果)の方向性	→ 維持	森林セラピーの周知を目的として活動していた森林セラピー推進協議会は、基地の認定から18年立ち、周知について一定の役割を果たせたとして令和8年度に閉会とする。
② コスト(予算)の方向性	↓ 縮小	

1. 基本情報							
事務事業名	2156 ー 初午祭開催支援事業						
政策名	1. にぎわい(産業の活力あふれ、交流と賑わいが生まれるまちづくり)			所属		観光PR課	
施策名	3. 地域特性を生かした観光の推進						
基本事業名	2. 観光素材の創出と活用			予	会計	01	一般会計
基本事業の内容 (総合計画より)	①JR肥薩線沿線周辺の整備や、ジオパークサイト等の地域資源を活用したガイドツアーの推進など、観光素材の魅力を引き出し、高める取組を推進します。 ②周遊観光の促進を図るため、観光ニーズに対応した広域観光ルートの開発や観光素材の活用を推進します。 ③多様化・複雑化する観光ニーズに対応した、「霧島ならではの」観光素材の創出を図ります。			算	款	07	商工費
				科	項	01	商工費
				目	目	04	観光費
				事業期間		平成17年度～	
基本事業の対象・意図	対象(誰・何を)		意図(どうしたいか)		根拠法令 条例等	特になし	
	①②自然や歴史・文化、温泉、食などの多種多様な観光素材 ③観光ニーズに対応した広域ルート		①②生かされる ①②創出される ③開発される		関連計画	特になし	

2. 事務事業の事業概要・目的・指標<Do>							
多年にわたり、鹿児島神宮周辺住民の生活の中で受け継がれてきた「記録作成等の措置を構すべき無形の民俗文化財」に選択された「薩摩の馬踊りの習俗」を後世に保存・継承するとともに、初午祭の円滑な事業推進を図る。							

対象(誰に、何を対象にしているのか)		対象指標(対象の大きさを表す指標)	単位	R6(実績)	R7(見込)	R7(実績)	R8(見込)
ア	観光客	観光客数	人	6,371,846	7,490,000	6,486,849	7,490,000
イ	初午祭出場団体数	初午祭出場団体数	団体	16	16	14	14
ウ				0	0	0	0
意図(対象をどうしたいのか)		成果指標(意図の達成度を表す指標)	単位	R6(実績)	R7(目標)	R7(実績)	R8(目標)
ア	初午祭に訪れることにより、霧島市の魅力を再認識できる	初午祭に訪れた人数	人	80,000	100,000	100,000	100,000
イ	初午祭の出場団体数により祭りの規模を把握できる	初午祭出場団体数	団体	16	16	14	14
ウ				0	0	0	0

3. 事業費推移		R6(決算)	R7(決算)	R8(予算)	4. 令和7年度の実績・成果		
事業費(千円)		2,400	2,400	2,200	今年度の参加団体については、昨年度と同数を予定していたが、2団体減となった。また、来場者数は天気も良く、午年ということもあり昨年を上回り本市の大きな観光イベントとして開催することができた。 年々諸費用が高額になっているため、昨年度に引き続き関係各所と協議して費用軽減に努めるとともに、自主財源の確保に努めた。		
財源内訳	国庫支出金	0	0	0			
	県支出金	0	0	0			
	地方債	0	0	0			
	その他	2,400	2,400	2,200			
	一般財源	0	0	0			

5. 振り返り<SEE (check)>			
妥当性	①	この事業の目的は、基本事業の目的、取組方針に結びついているか	結びついている
	②	この事業を市が行う必要があるか？ 税金を投入して達成する目的か	実施すべき又は実施しなければならない事業
	③	廃止・休止の影響はあるか	影響がある
有効性	④	成果が向上する余地(可能性)はあるか	向上する余地はない
効率性	⑤	事務事業の手段を工夫することで、事業費を削減できないか 補助金など、交付先に働きかけて市の負担を削減できないか	削減できない
	⑥	事務事業のやり方(DX・外部委託等)を工夫することで、業務時間を削減できないか	削減できない
公平性	⑦	事務事業の内容が一部の受益者に偏っていないか また、受益者負担の公平性が確保されているか	公平・公正である

6. 評価結果<(Action-PLAN)>		
(1)今後の事務事業の方向性		(2)令和8年度以降の改革改善内容(取り組むべき課題)
① 事業(成果)の方向性	→ 維持	今年度は、以前から検討していた交通規制範囲を縮小し、警備員の削減を行ったが、交通渋滞が起り混乱が生じた。交通規制範囲について再度検討を行う。また、年々諸費用が高額になっているため、経費削減のため対策を検討する必要がある。
② コスト(予算)の方向性	→ 維持	

1. 基本情報									
事務事業名	2158 ー 安楽妙見温泉街並みづくり活動支援事業								
政策名	1. にぎわい(産業の活力あふれ、交流と賑わいが生まれるまちづくり)				所属		観光PR課		
施策名	3. 地域特性を生かした観光の推進								
基本事業名	2. 観光素材の創出と活用				予	会計	01	一般会計	
基本事業の内容 (総合計画より)	①JR肥薩線沿線周辺の整備や、ジオパークサイト等の地域資源を活用したガイドツアーの推進など、観光素材の魅力を引き出し、高める取組を推進します。 ②周遊観光の促進を図るため、観光ニーズに対応した広域観光ルートの開発や観光素材の活用を推進します。 ③多様化・複雑化する観光ニーズに対応した、「霧島ならではの」観光素材の創出を図ります。				算	款	07	商工費	
					科	項	01	商工費	
					目	目	04	観光費	
					事業期間		平成17年度～		
基本事業の対象・意図	対象(誰・何を)		意図(どうしたいか)		根拠法令 条例等		霧島市補助金交付規則		
	①②自然や歴史・文化、温泉、食などの多種多様な観光素材 ③観光ニーズに対応した広域ルート		①②生かされる ①②創出される ③開発される		関連計画		特になし		
2. 事務事業の事業概要・目的・指標<Do>									
妙見温泉振興会と安楽温泉振興会が行っている国道223号沿線の植栽や剪定等の景観保全活動に対して支援する。									
対象(誰に、何を対象にしているのか)		対象指標(対象の大きさを表す指標)		単位	R6(実績)	R7(見込)	R7(実績)	R8(見込)	
ア	妙見・安楽地区の団体	補助した団体数		団体	2	2	2	2	
イ					0	0	0	0	
ウ					0	0	0	0	
意図(対象をどうしたいのか)		成果指標(意図の達成度を表す指標)		単位	R6(実績)	R7(目標)	R7(実績)	R8(目標)	
ア	景観向上のための整備をする	植栽等もみじ管理活動回数		回	5	5	5	5	
イ					0	0	0	0	
ウ					0	0	0	0	
3. 事業費推移		R6(決算)	R7(決算)	R8(予算)	4. 令和7年度の実績・成果				
事業費(千円)		571	554	499	妙見・安楽の各温泉振興会へ街並みづくり(花の植栽等)に係る補助金を交付し、霧島地域の観光の玄関口である同地区の国道223号沿いにもみじを植栽したり、草刈等の整備を実施することで、景観を向上させ、観光客へ「観光地霧島」というイメージを持ってもらうことに努めた。 (補助金額) ・妙見温泉振興会 313千円 ・安楽温泉振興会 241千円				
財源内訳	国庫支出金	0	0	0					
	県支出金	0	0	0					
	地方債	0	0	0					
	その他	500	500	400					
一般財源		71	54	99					
5. 振り返り<SEE (check)>									
妥当性	①	この事業の目的は、基本事業の目的、取組方針に結びついているか					結びついている		
	②	この事業を市が行う必要があるか？ 税金を投入して達成する目的か					市が実施することは妥当である		
	③	廃止・休止の影響はあるか					影響がある		
有効性	④	成果が向上する余地(可能性)はあるか					向上する余地はない		
効率性	⑤	事務事業の手段を工夫することで、事業費を削減できないか 補助金など、交付先に働きかけて市の負担を削減できないか					削減できない		
	⑥	事務事業のやり方(DX・外部委託等)を工夫することで、業務時間を削減できないか					削減できない		
公平性	⑦	事務事業の内容が一部の受益者に偏っていないか また、受益者負担の公平性が確保されているか					公平・公正である		
6. 評価結果<(Action-PLAN)>									
(1) 今後の事務事業の方向性				(2) 令和8年度以降の改革改善内容(取り組むべき課題)					
① 事業(成果)の方向性		→ 維持		昨年同様、霧島地域の観光の玄関口である同地区の国道223号沿いにもみじを植栽したり、草刈等の整備を実施することで、景観を向上させ、観光客へ「観光地霧島」というイメージを持ってもらえるよう努める。					
② コスト(予算)の方向性		→ 維持							

1. 基本情報							
事務事業名 2159 ー 温泉旅館協会等運営支援事業							
政策名 1. にぎわい(産業の活力あふれ、交流と賑わいが生まれるまちづくり)			所属		観光PR課		
施策名 3. 地域特性を生かした観光の推進							
基本事業名 2. 観光素材の創出と活用			予	会計	01	一般会計	
基本事業の内容 (総合計画より)	①JＲ肥薩線沿線周辺の整備や、ジオパークサイト等の地域資源を活用したガイドツーリズムの推進など、観光素材の魅力を引き出し、高める取組を推進します。 ②周遊観光の促進を図るため、観光ニーズに対応した広域観光ルートの開発や観光素材の活用を推進します。 ③多様化・複雑化する観光ニーズに対応した、「霧島ならではの」観光素材の創出を図ります。			算	款	07	商工費
				科	項	01	商工費
				目	目	04	観光費
				事業期間			平成17年度～
基本事業の対象・意図	対象(誰・何を)		意図(どうしたいか)		根拠法令 条例等		霧島市補助金交付規則
	①②自然や歴史・文化、温泉、食などの多種多様な観光素材 ③観光ニーズに対応した広域ルート		①②生かされる ①②創出される ③開発される		関連計画		特になし

2. 事務事業の事業概要・目的・指標<Do>							
観光客の受入れのため、各温泉旅館協会等が行っている観光誘致宣伝活動や運営などの事業に対し、入湯税の還元として補助金を交付する。 【対象団体】霧島温泉旅館協会・霧島神宮温泉郷旅館協会・日当山温泉旅館組合・妙見温泉振興会・安楽温泉振興会							

対象(誰に、何を対象にしているのか)		対象指標(対象の大きさを表す指標)	単位	R6(実績)	R7(見込)	R7(実績)	R8(見込)
ア	観光客	観光客数	人	6,371,846	7,490,000	6,486,849	7,490,000
イ				0	0	0	0
ウ				0	0	0	0
意図(対象をどうしたいのか)		成果指標(意図の達成度を表す指標)	単位	R6(実績)	R7(目標)	R7(実績)	R8(目標)
ア	霧島を観光してもらう	事業の実施件数	件	17	17	17	17
イ				0	0	0	0
ウ				0	0	0	0

3. 事業費推移		R6(決算)	R7(決算)	R8(予算)	4. 令和7年度の実績・成果
事業費(千円)		1,455	1,571	1,698	各温泉旅館協会等の事業に対し、入湯税の還元として補助金を交付したことで、各団体による観光誘致活動が展開され、観光客の受入れ促進に寄与した。
財源内訳	国庫支出金	0	0	0	【補助金額】 ・霧島温泉旅館協会 1,243千円 ・霧島神宮温泉郷旅館協会 111千円 ・日当山温泉旅館組合 106千円 ・妙見温泉振興会 107千円 ・安楽温泉振興会 4千円 ●霧島市観光統計実績 【宿泊客】 ・令和5年:827,919人 ・令和6年:778,436人(対前年比94.02% 対元年比87.19%)
	県支出金	0	0	0	
	地方債	0	0	0	
	その他	0	0	0	
	一般財源	1,455	1,571	1,698	

5. 振返り<SEE (check)>			
妥当性	①	この事業の目的は、基本事業の目的、取組方針に結びついているか	結びついている
	②	この事業を市が行う必要があるか？ 税金を投入して達成する目的か	実施すべき又は実施しなければならない事業
	③	廃止・休止の影響はあるか	影響がある
有効性	④	成果が向上する余地(可能性)はあるか	向上する余地はない
効率性	⑤	事務事業の手段を工夫することで、事業費を削減できないか 補助金など、交付先に働きかけて市の負担を削減できないか	削減できない
	⑥	事務事業のやり方(DX・外部委託等)を工夫することで、業務時間を削減できないか	削減できない
公平性	⑦	事務事業の内容が一部の受益者に偏っていないか また、受益者負担の公平性が確保されているか	公平・公正である

6. 評価結果<(Action-PLAN)>			
(1) 今後の事務事業の方向性		(2) 令和8年度以降の改革改善内容(取り組むべき課題)	
① 事業(成果)の方向性	→ 維持	引き続き、観光促進を図るため、各温泉旅館協会等が行う観光誘致宣伝活動や運営などの事業を実施し、誘客促進に繋げる。	
② コスト(予算)の方向性	→ 維持		

1. 基本情報									
事務事業名		2165 ー 外国人観光客誘致促進事業							
政策名		1. にぎわい(産業の活力あふれ、交流と賑わいが生まれるまちづくり)			所属		観光PR課		
施策名		3. 地域特性を生かした観光の推進							
基本事業名		1. 国内外の観光客の誘致			予	会計	01	一般会計	
基本事業の内容 (総合計画より)		①本市の豊富な観光素材や空港、高速道路等が整備された観光地としてのポテンシャルを最大限に生かしつつ、社会環境や旅行形態の変化などを的確に捉え、観光関係団体等と一体となった誘客活動をさらに推進します。 ②旅行動機を喚起するSNS等を活用した情報発信などにより、「観光地・霧島」のさらなる知名度向上に取り組みます。			算	款	07	商工費	
					科	項	01	商工費	
					目	目	04	観光費	
					事業期間		平成23年度～		
基本事業の対象・意図		対象(誰・何を)		意図(どうしたいか)		根拠法令 条例等		特になし	
		①②国内外の人		①②「観光地・霧島」の魅力を知ってもらう ①②「観光地・霧島」を訪れてもらう		関連計画		特になし	
2. 事務事業の事業概要・目的・指標<Do>									
鹿児島県や鹿児島県観光連盟、市内観光関係団体、宿泊施設と連携し、外国人観光客の誘客促進活動を行う。アジアを中心とした現地セールス、ツアー商品等造成のための旅行エージェント(旅行会社)との商談会の実施、現地視察案内、ツアー企画の協力支援を行う。									
対象(誰に、何を対象にしているのか)		対象指標(対象の大きさを表す指標)		単位	R6(実績)	R7(見込)	R7(実績)	R8(見込)	
ア	外国人(定期航空路線就航地を主とする)	鹿児島空港国際線定期便就航路線		路線	4	5	2	4	
イ					0	0	0	0	
ウ					0	0	0	0	
意図(対象をどうしたいのか)		成果指標(意図の達成度を表す指標)		単位	R6(実績)	R7(目標)	R7(実績)	R8(目標)	
ア	霧島市の情報を知る	海外誘致セールス回数		回	3	5	2	4	
イ					0	0	0	0	
ウ					0	0	0	0	
3. 事業費推移		R6(決算)	R7(決算)	R8(予算)	4. 令和7年度の実績・成果				
事業費(千円)		2,865	2,295	2,038	香港便が令和7年5月より減便、7月からは全便運休、上海便も12月から全便運休しており、非常に厳しい状況であった。 それでも韓国のゴルフ需要により、翌年1月から3月まで韓国便が毎日運行となった。 また、前年度にベトナムのチャーター便が運航したことに伴い、総合パンフレットのベトナム語版を新たに作成した。 今年度は鹿児島県観光連盟と協力し、台湾及びベトナムへセールスに行き、団体旅行の誘客をすることができた。				
財源内訳	国庫支出金	0	0	0					
	県支出金	0	0	0					
	地方債	0	0	0					
	その他	2,800	2,200	2,000					
	一般財源	65	95	38					
5. 振り返り<SEE (check) >									
妥当性	①	この事業の目的は、基本事業の目的、取組方針に結びついているか					結びついている		
	②	この事業を市が行う必要があるか？ 税金を投入して達成する目的か					市が実施することは妥当である		
	③	廃止・休止の影響はあるか					影響がある		
有効性	④	成果が向上する余地(可能性)はあるか					向上する余地はある		
効率性	⑤	事務事業の手段を工夫することで、事業費を削減できないか 補助金など、交付先に働きかけて市の負担を削減できないか					***		
	⑥	事務事業のやり方(DX・外部委託等)を工夫することで、業務時間を削減できないか					***		
公平性	⑦	事務事業の内容が一部の受益者に偏っていないか また、受益者負担の公平性が確保されているか					***		
6. 評価結果<(Action-PLAN)>									
(1) 今後の事務事業の方向性				(2) 令和8年度以降の改革改善内容(取り組むべき課題)					
① 事業(成果)の方向性		↑ 拡充	香港便、上海便の運行再開を目指し、コンテンツの豊さや安全性についてセールスを行う必要がある。更なる内容の磨き上げにより、九州管内を周遊するような長期滞在プランの誘客を目指す。						
② コスト(予算)の方向性		→ 維持							

1. 基本情報							
事務事業名	2566 ー 霧島市総合観光案内所管理運営事業						
政策名	1. にぎわい(産業の活力あふれ、交流と賑わいが生まれるまちづくり)			所属	観光PR課		
施策名	3. 地域特性を生かした観光の推進						
基本事業名	1. 国内外の観光客の誘致			予	会計	01	一般会計
基本事業の内容 (総合計画より)	①本市の豊富な観光素材や空港、高速道路等が整備された観光地としてのポテンシャルを最大限に生かしつつ、社会環境や旅行形態の変化などを的確に捉え、観光関係団体等と一体となった誘客活動をさらに推進します。 ②旅行動機を喚起するSNS等を活用した情報発信などにより、「観光地・霧島」のさらなる知名度向上に取り組みます。			算	款	07	商工費
				科	項	01	商工費
				目	目	04	観光費
				事業期間		令和5年度～	
基本事業の対象・意図	対象(誰・何を)		意図(どうしたいか)		根拠法令 条例等	特になし	
	①②国内外の人		①②「観光地・霧島」の魅力を知ってもらう ①②「観光地・霧島」を訪れてもらう		関連計画	特になし	

2. 事務事業の事業概要・目的・指標<Do>							
霧島の玄関口である鹿児島空港や高速道路利用者等の利便性の向上のため、その周辺にある観光施設「西郷公園」で観光案内を行う。 【委託先】公益社団法人霧島市観光協会 【主な委託業務】スタッフの雇用及び育成・観光案内・情報発信・問い合わせ対応・特産品等PR・レンタサイクル受付等							

対象(誰に、何を対象にしているのか)		対象指標(対象の大きさを表す指標)	単位	R6(実績)	R7(見込)	R7(実績)	R8(見込)
ア	観光客	西郷公園来訪者(年度)	人	9,664	20,000	27,958	28,000
イ				0	0	0	0
ウ				0	0	0	0
意図(対象をどうしたいのか)		成果指標(意図の達成度を表す指標)	単位	R6(実績)	R7(目標)	R7(実績)	R8(目標)
ア	西郷公園で霧島市に関する情報を手にすることができる	案内した人数(年度)	人	832	2,000	2,180	2,200
イ				0	0	0	0
ウ				0	0	0	0

3. 事業費推移		R6(決算)	R7(決算)	R8(予算)	4. 令和7年度の実績・成果
事業費(千円)		9,455	9,230	9,661	観光案内所が手狭であったことと、西郷公園が空港に近いことから総合的に判断し、令和5年4月より日当山西郷どん村から西郷公園に移転した。 令和6年度は回廊撤去工事があったため、十分な観光案内が行えなかったが、令和7年度においては施設のリニューアルと新規事業の開始等により来訪者・案内人数が増加した。
財源内訳	国庫支出金	0	0	0	
	県支出金	0	0	0	
	地方債	0	0	0	
	その他	9,400	9,200	9,600	
	一般財源	55	30	61	

5. 振り返り<SEE (check)>			
妥当性	①	この事業の目的は、基本事業の目的、取組方針に結びついているか	結びついている
	②	この事業を市が行う必要があるか？税金を投入して達成する目的か	市が実施することは妥当である
	③	廃止・休止の影響はあるか	影響がある
有効性	④	成果が向上する余地(可能性)はあるか	向上する余地はある
効率性	⑤	事務事業の手段を工夫することで、事業費を削減できないか 補助金など、交付先に働きかけて市の負担を削減できないか	***
	⑥	事務事業のやり方(DX・外部委託等)を工夫することで、業務時間を削減できないか	***
公平性	⑦	事務事業の内容が一部の受益者に偏っていないか また、受益者負担の公平性が確保されているか	***

6. 評価結果<(Action-PLAN)>		
(1)今後の事務事業の方向性		(2)令和8年度以降の改革改善内容(取り組むべき課題)
① 事業(成果)の方向性	↑ 拡充	鹿児島空港前にあるという好立地を生かし、観光客誘客のための新規事業を立ち上げるなど、誘客に努めている。ただ、高額な予算をかけずに実施できるイベントもあると思うので、定期的な誘客イベントの開催についても働きかける。
② コスト(予算)の方向性	→ 維持	

1. 基本情報								
事務事業名	2802 ー 首都圏アンテナショップ運営事業							
政策名	1. にぎわい(産業の活力あふれ、交流と賑わいが生まれるまちづくり)			所属		観光PR課		
施策名	1. 地域産業の活性化							
基本事業名	3. 霧島ブランドの確立と販路の拡大			予	会計	01	一般会計	
基本事業の内容 (総合計画より)	①「ゲンセン霧島」認定制度を推進するため、生産者等への制度の普及・啓発や、特色ある認定品の充実に取り組みます。 ②生産者や関係団体が連携して、積極的に商談会などに参加することで、認定品の販路拡大や販売促進を図ります。			算	款	07	商工費	
				科	項	01	商工費	
				目	目	04	観光費	
				事業期間				
基本事業の対象・意図	対象(誰・何を)		意図(どうしたいか)		根拠法令 条例等		特になし	
	①②地域産品		①②販路が拡大される					
					関連計画		特になし	

2. 事務事業の事業概要・目的・指標<Do>							
東京都大田区に開設されている溝辺町竹子地区のアンテナショップ「じゃっど☆ラボ」と連携した取組を行なう。 本市の豊富で魅力ある産品(特産品・農林水産物等)を発掘・発信し、販路の拡大及び農林水産業の稼ぐ力の向上を図る。 本市の情報発信基地として、旬の観光情報や移住定住情報などの充実を図り、本市への誘客及び移住につなげる。							

対象(誰に、何を対象にしているのか)		対象指標(対象の大きさを表す指標)	単位	R6(実績)	R7(見込)	R7(実績)	R8(見込)
ア	市民	大田区の人口	人	742,842	747,000	747,423	747,000
イ				0	0	0	0
ウ				0	0	0	0
意図(対象をどうしたいのか)		成果指標(意図の達成度を表す指標)	単位	R6(実績)	R7(目標)	R7(実績)	R8(目標)
ア	本市の認知度を上げる。	来店者数(1月あたり)	人	0	140	164	150
イ				0	0	0	0
ウ				0	0	0	0

3. 事業費推移		R6(決算)	R7(決算)	R8(予算)	4. 令和7年度の実績・成果		
事業費(千円)		0	2,500	2,400	市制施行20周年記念事業の一環として、東京都大田区の「じゃっど☆ラボ」を本市公式アンテナショップとしてリニューアルオープンさせたことにより、首都圏における本市産品の販売や観光・移住などの情報発信拠点の確保及び継続的な発信体制の構築が図られた。		
財源内訳	国庫支出金	0	0	0			
	県支出金	0	1,250	800			
	地方債	0	0	0			
	その他	0	0	0			
	一般財源	0	1,250	1,600			

5. 振り返り<SEE (check)>			
妥当性	①	この事業の目的は、基本事業の目的、取組方針に結びついているか	結びついている
	②	この事業を市が行う必要があるか？ 税金を投入して達成する目的か	市が実施することは妥当である
	③	廃止・休止の影響はあるか	影響がある
有効性	④	成果が向上する余地(可能性)はあるか	向上する余地はある
効率性	⑤	事務事業の手段を工夫することで、事業費を削減できないか 補助金など、交付先に働きかけて市の負担を削減できないか	***
	⑥	事務事業のやり方(DX・外部委託等)を工夫することで、業務時間を削減できないか	***
公平性	⑦	事務事業の内容が一部の受益者に偏っていないか また、受益者負担の公平性が確保されているか	***

6. 評価結果<(Action-PLAN)>		
(1) 今後の事務事業の方向性		(2) 令和8年度以降の改革改善内容(取り組むべき課題)
① 事業(成果)の方向性	↑ 拡充	・現在の売上規模に対する物価高騰等による人件費や光熱水費など経費の増大が悩ましい。 ・客足や売上を伸ばすため、人気商品や売れ筋商品の更なるセレクトや新商品の紹介、イベント出展数を増やすなどでファンやリピーター獲得に繋がれたら、売上と本市誘客への期待がさらに高まる。
② コスト(予算)の方向性	→ 維持	